

収入の減少状況に関する申立書（総合支援資金）

間違えて記入した場合は、お手数ですが、もう一度、記入し直してください。  
（修正ペンや二重書きは不可）

たします。

金について、貸付の要件である新型コロナウイルスについては、以下のとおりであることを申告いた

借入申込書に記入した勤務先名称や職業をご記入ください。現在、無職の方は退職した勤務先の名称・住所も記入ください。

勤務先名称または職業	<b>無職</b> <b>(前職: ●●●株式会社)</b>
勤務先所在地	〒 <b>920-0000</b> <b>××市△△△3-2-1</b>  TEL <b>××× (×××) ××××</b>
影響前の収入	令和 <b>2</b> 年 <b>3</b> 月時の月額所得（手取り）は、約 <b>15</b> 万円でした。
現在の収入	令和 <b>3</b> 年 <b>1</b> 月時の月額所得（手取り）は、約 <b>0</b> 万円でした。
減少の理由	どのようなコロナウイルスの影響があり、収入減少につながったのか、記入ください。 <b>新型コロナウイルスの影響で、会社の業績が悪化し、解雇となったため。</b>

減少前の収入には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前の収入を、減少後の収入には影響を受けた後の収入(直近のもの)をご記入ください。減少の理由には、どのようなコロナウイルスの影響があり、収入減少につながったのか、分かる範囲でご記入ください。

例: 来客数が減少し、会社の業績が悪化した、お店が休業し、勤務日数が減った等

利用中の他の公的給付（該当するものに○）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>失業等給付</b> ・ 職業訓練受講給付金</li> <li>・ 年金 ・ その他 ( )</li> <li>・ 利用していない</li> </ul>
特記事項	<p>公的給付に加えて特例貸付が必要な場合や収入の減少額以上の借入金額が必要な場合など、借入にあたって、留意事項がある場合、記入してください。（生計費、他の家族の収入、他の公的給付の金額、使途、緊急性等）</p> <p><b>妻も新型コロナウイルスの影響で休業し、収入が15万円から0円となっている。失業保険を月額約10万円受給しているが、生活費が不足しているため。</b></p>

公的給付を受給している場合は、その金額および公的給付に加えて貸付が必要な理由について、ご記入ください。また、収入の減少額が10万円しかない場合に、毎月20万円の借入を希望する場合など、収入の減少額以上の借入金額が必要な場合、その理由を記入ください。

令和●年 ●月 ●●日

(借入申込者) 住所 ××市○○1-1-1

氏名 ●●太郎

※本様式で申告した収入を証明することがありますので、申請後も適切に保管してください。

住所、氏名を必ず自筆で記入ください。